

医 健 第 2056 号
令和 7 年 11 月 13 日

市内医療機関の皆様へ

横浜市保健所長
木村 博和

インフルエンザの市内流行警報発令に伴う注意喚起について（依頼）

日頃から本市の感染症対策に御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では、第 45 週（11 月 3 日～11 月 9 日）の定点医療機関当たりの患者報告数が 35.99 となり、流行警報発令基準※(30.00)を超えたため、11 月 12 日に市内にインフルエンザの流行警報を発令しました。

区別の流行状況では、12 区で定点医療機関当たりの患者報告数が流行警報発令基準を超えています。

感染が広がる前に、施設への持ち込み防止策、発症者の早期把握及び感染拡大防止策の強化が重要です。

御多忙中のところ誠に恐縮ですが、各医療機関において感染対策をお願いいたします。

※令和 7 年 4 月 7 日から定点医療機関数に変更があったため、変更前に使用していた基準を参考としています。

<添付資料>

- （１）記者発表資料「インフルエンザ流行警報発令」
- （２）2025-2026 横浜市インフルエンザ流行情報（令和 7 年 11 月 13 日発行）

担 当：横浜市医療局健康安全課
電 話：671-2463 FAX：664-7296
E-mail：ir-kenkoukiki@city.yokohama.lg.jp

インフルエンザ流行警報発令

横浜市では、令和7年第45週（11月3日～11月9日）の全市集計において、インフルエンザ警報発令基準（1定点医療機関※1当たり1週間の患者報告数30.00人）を超え、「35.99」となりましたので、インフルエンザ流行警報を発令しました。年齢別では、10歳未満の報告が全体の48.39%、15歳未満の報告が全体の75.60%となっています。

市民の皆さま一人ひとりが早めに予防策を取りましょう。

※1 定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告する医療機関（市内90か所）

令和7年4月7日から定点医療機関数に変更があったため、変更前に使用していた基準を参考としています。

市内定点当たりの患者報告数

年・週	期 間	患者報告数（人）（※2）	備考
令和7年第42週	10月13日～10月19日	5.38	—
第43週	10月20日～10月26日	10.95	注意報
第44週	10月27日～11月2日	27.42	—
第45週	11月3日～11月9日	35.99	警報

※2 患者報告数は医療機関からの追加報告により、数値が変動します。

【参考】横浜市感染症情報センターWeb ページ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/eiken/idsc.html>



インフルエンザにかからない、うつさないためのポイント



インフルエンザにかかったかもしれないと思ったときは

- ☐ 人混みへの外出を控え、無理をせず十分に休養をとりましょう。
- ☐ 高熱が続く、呼吸が苦しい、意識状態がおかしいなど、具合が悪ければ早めに医療機関を受診しましょう。
- ☐ 乳幼児や高齢者、妊婦、免疫力の低下、基礎疾患のある方は特に重症化しやすいため、心配な場合は早めに医療機関を受診しましょう。

インフルエンザの予防接種

- ☐ 重症化予防のため予防接種を受けましょう。（高齢者インフルエンザ予防接種は12月31日までです。）

【参考】厚生労働省 Web ページ 「インフルエンザ（総合ページ）」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/index.html



お問合せ先

（感染症対策全般について）医療局健康安全課長	竹澤 智湖	Tel 045-671-2442
（感染症発生動向について）衛生研究所感染症・疫学情報課長	横山 涼子	Tel 045-370-9279

横浜市インフルエンザ流行情報

横浜市医療局健康安全課／横浜市衛生研究所

<<トピックス>>

流行警報が発令されました

【第 45 週(11 月 3 日～11 月 9 日)の概況】

- ✓ 定点あたりの患者報告数※¹は、横浜市全体で **35.99** となり、流行警報の発令基準 30.00 を超えました。
- ✓ 年齢別では、15 歳未満の報告が全体の 75.6%を占めています。
- ✓ 学級閉鎖等は、小学校を中心に 78 施設、患者数は 2,068 人です。

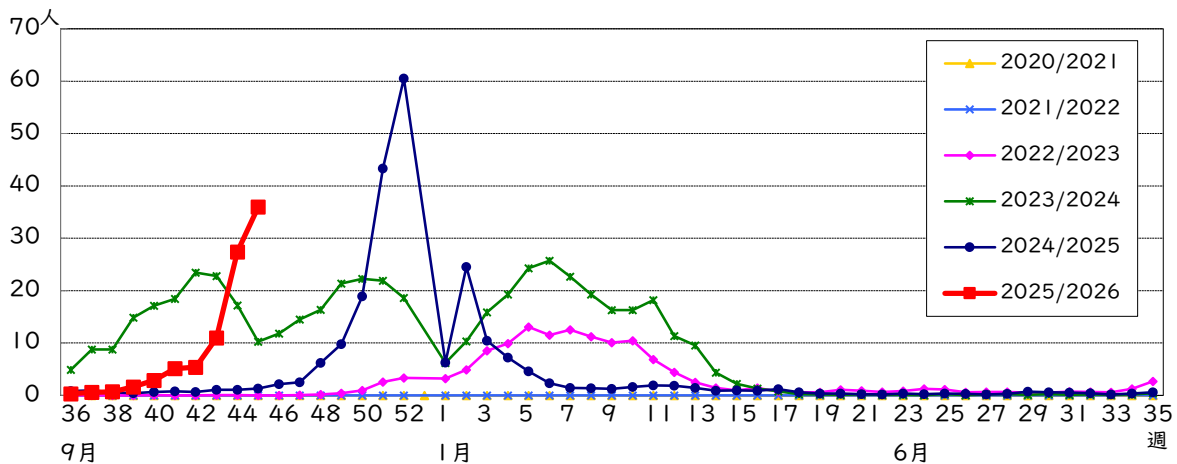
 咳エチケットや正しい手洗い※²等でインフルエンザを予防しましょう。

※¹ 定点あたりの患者報告数とは、1 週間に 1 回、定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告していただいている医療機関(市内 90 か所)から報告された患者数の平均値です。

※² [令和 6 年度インフルエンザ Q&A \(厚生労働省\)](#) に、インフルエンザの予防方法等について掲載されています。

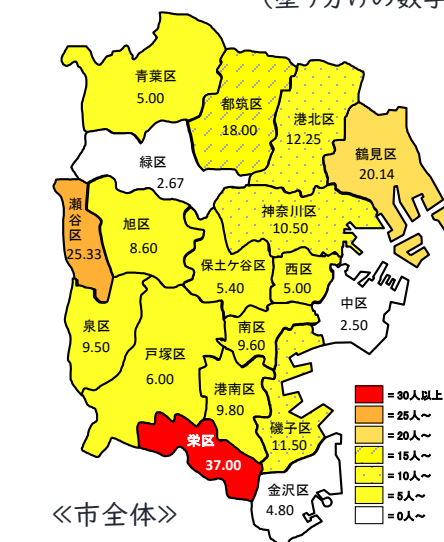
【市内流行状況】

市全体の定点あたりの患者報告数は、第 37 週(9 月 8 日～9 月 14 日、定点あたり 0.59) 以降、増加傾向が続き、第 43 週(10 月 20 日～10 月 26 日、定点あたり 10.95)に流行注意報発令基準(10.00)を、第 45 週に 35.99 で、流行警報発令基準(30.00)を超えました。



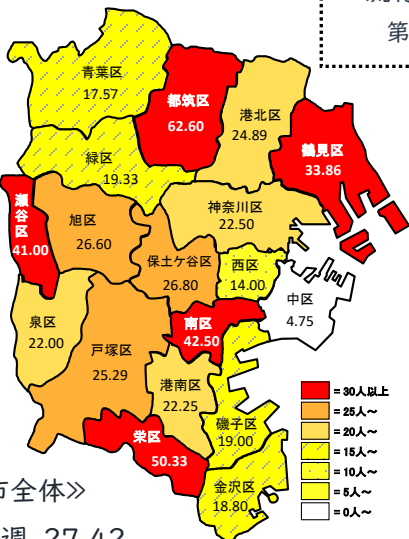
【地図で表した直近 3 週間の区別流行状況】

(塗り分けの数字は定点あたり報告数)



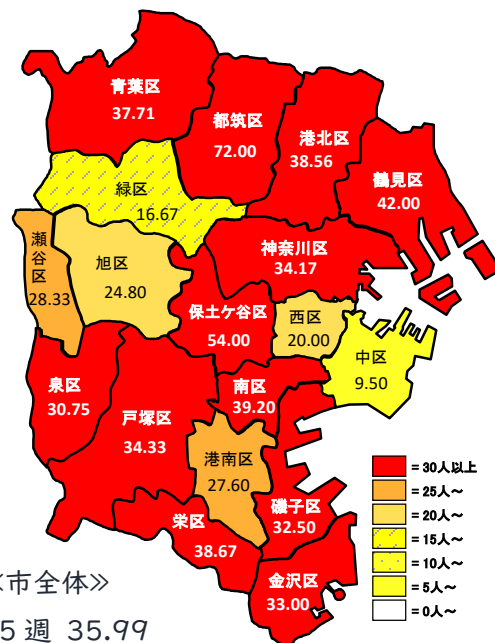
《市全体》

第 43 週 10.95



《市全体》

第 44 週 27.42



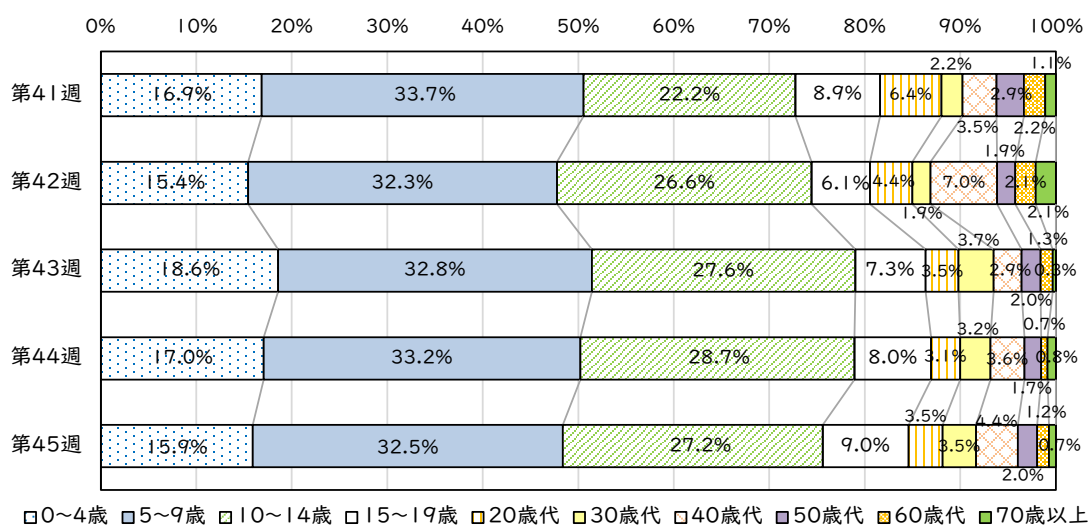
《市全体》

第 45 週 35.99

【年齢層別集計】

第 45 週の患者年齢構成は、10 歳未満が 48.4%、10 歳から 15 歳未満が 27.2%で、15 歳未満が全体の 75.6%を占めています。

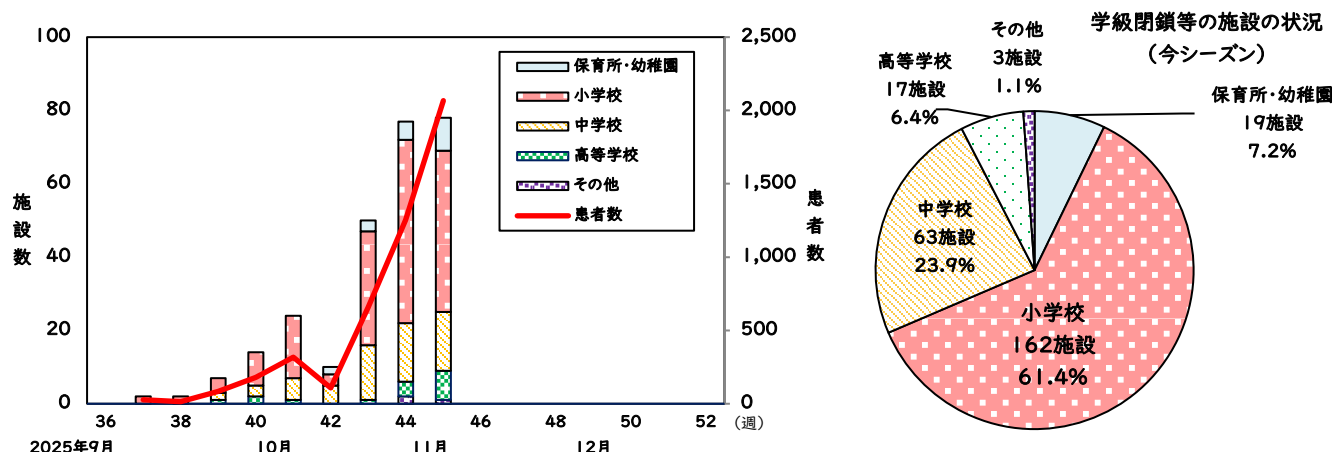
＜年齢層別患者割合＞



※ 小数点以下第 2 位を四捨五入するため、計と内訳の合計が一致しない場合や構成比の内訳の合計が 100%にならない場合があります。

【市内学級閉鎖等状況】

第 45 週は 78 施設（保育所・幼稚園 9、小学校 44、中学校 16、高等学校 8、その他 1）から、2,068 人の患者数の報告がありました。なお、今シーズンの累計は 264 施設、延べ 4,708 人の患者数が報告されており、施設毎の割合は、保育所・幼稚園 7.2%、小学校 61.4%、中学校 23.9%、高等学校 6.4%、その他 1.1%です。



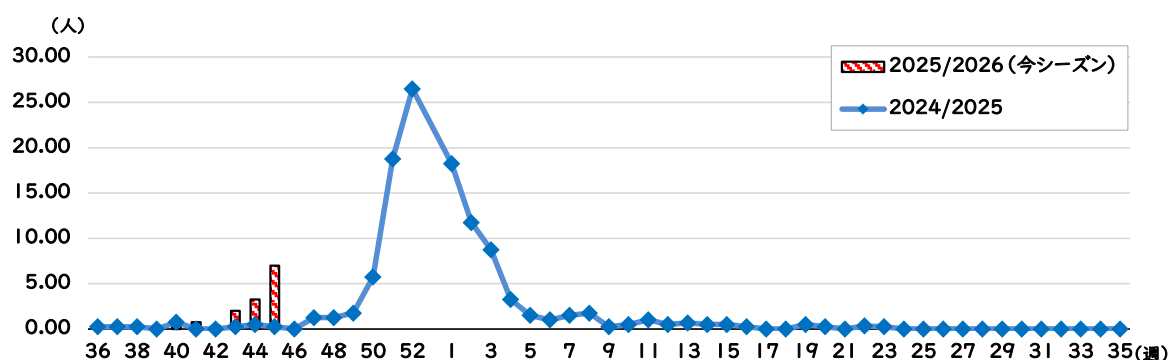
【入院サーベイランス】

市内基幹定点医療機関※6 におけるインフルエンザ入院患者は、第 45 週は 28 人の報告があり、今シーズンは現在までに累計 58 人（10 歳未満 24 人、10 歳代 9 人、20 歳代 1 人、50 歳代 3 人、60 歳代 4 人、70 歳代 2 人、80 歳以上 15 人）です。

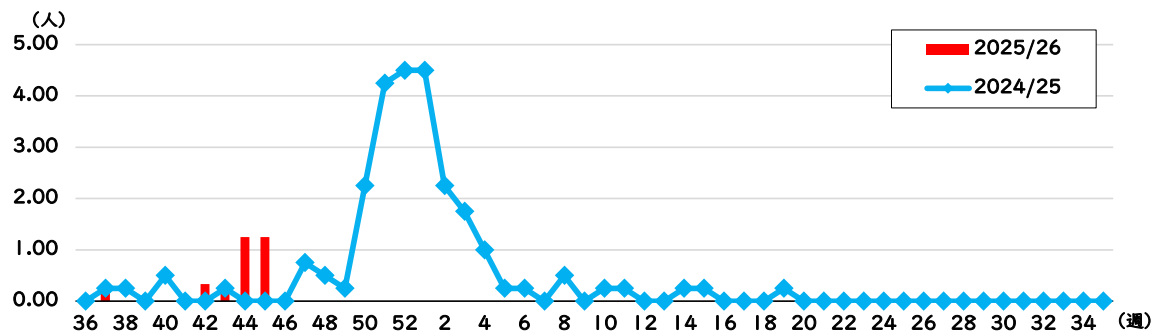
入院時の診療内容（ICU 入室、人工呼吸器の利用、頭部 CT 検査、頭部 MRI 検査、脳波検査を実施）で重症肺炎や脳炎が疑われる患者は、現在までに累計で 13 人（うち第 45 週報告数は 5 人）です。

※6 基幹定点：患者を 300 人以上収容する病院（小児科医療と内科医療を提供しているもの）の中から、地域ごとに指定された医療機関のことで、市内には 4 つの基幹定点があります。

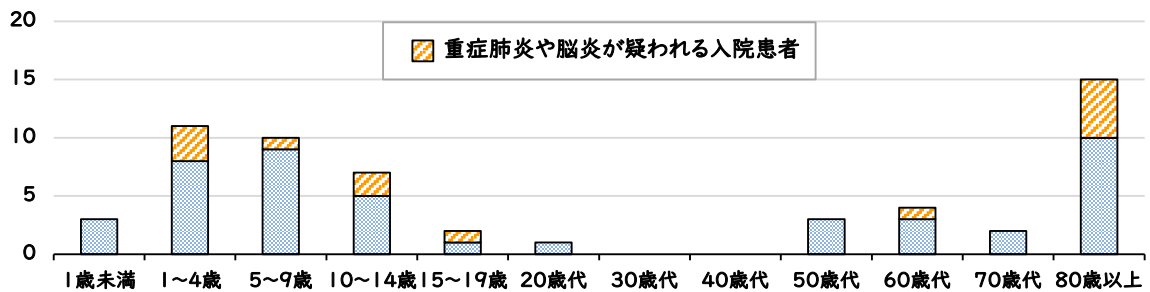
<基幹定点あたりの入院患者報告数の推移>



<基幹定点あたりの重症入院患者報告数の推移>



<基幹定点の入院患者報告数(年齢別)>



* 参考リンク

近隣自治体の流行状況

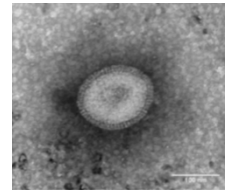
○ [神奈川県](#) ○ [川崎市](#) ○ [東京都](#)

全国の流行状況

○ [国立感染症研究所](#)

インフルエンザウイルスの
電子顕微鏡写真(6万倍)

撮影:
横浜市衛生研究所



最新の感染症情報はこちら



横浜メディカル
ダッシュボード



衛生研究所
Instagram

【お問い合わせ先】

横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課

TEL 045(370)9237

横浜市医療局健康安全課

TEL 045(671)2463